

根津記念館 開館記念新春特別企画展



「紅海を渡る(モーゼ)」

第1回 妣田圭子展

平成21年1月11日(日)～2月22日(日)

根津記念館

- 【休館日】 毎週月曜日(1月12日は開館し、13日が休館)
- 【開館時間】 午前9時半～午後4時半(受付4時終了)
- 【入館料】 大人300円(240円) 高校生200円(160円)
小・中学生100円(80円)20名以上でカッコ内の団体料金となります。

主催 山梨市・山梨市教育委員会
後援 山梨日日新聞社 読売新聞社甲府支局 朝日新聞社甲府総局 毎日新聞甲府支局
産経新聞社甲府支局 山梨放送 テレビ山梨 山梨CATV

山梨市 根津記念館

〒405-0032 山梨県山梨市正徳寺296
TEL 0553-21-8250 FAX 0553-21-8251

KUSAE

森羅万象と語る人



幼いときから、私は和紙が好きでした。特に手で漉いた和紙が好きで、箱にはったり、帳面を作ったりして遊びました。小さい切りくずも大切に箱にしまっておきました。それがある日、その箱が逆さまに落ちて、ふたが開き、小さい和紙の切りくずが畳いっぱいになりました。いつまでも、このままにしておきたいとは思いました。この様子を残しておきたいと思いました。でも、いつまでも畳に紙を散らしておくわけにもいきません。私は、散らばった紙の姿を深く心にしまいこみました。それから半年もたない間に、私は屏風を創って、その屏風に、あの、あの日の散らばった紙を思い出して、散りばめてみました。紙だけでは少しいのちが薄いので、そこへ筆で“いろは”を書きました。それが、草絵のはじまりでした。
 妣田 圭子



- 1912年 8月1日 大阪に生まれる
- 1925年 大阪府立清水谷高等女学校入学
- 1930年 卒業後大阪毎日新聞社学芸部嘱託
退社後独自の舞踏をあみだし舞踏塾設立
- 1949年 大本山小野随心院にて得度受戒
草絵創始
- 1954年 全てをすてて、海外へ一歩の旅にでる
- 1957年 旅を終え、日本に帰り東京に居を持つ
- 1960年~ 三越本店美術部において草絵発表
以後、国内外問わず個展・展示会で発表
- 1982年 山梨県東山梨郡牧丘町(現山梨市)に草絵の職場を作る
- 1986年 同牧丘町(現山梨市)に「芸術村」を創設
- 1990年 財団法人サントリー文化財団 サントリー地域文化賞受賞
- 2002年 山梨県牧丘芸術の丘オーチャードヴィレッジ フブに
「草絵サロン」オープン
- 2004年 文化庁長官賞受賞

- 主な展示品**
- ・「紅海を渡る(モーゼ)」
 - ・「風林火山」
 - ・「いちに橘」
 - ・「春夏秋冬」
 - ・大般若経
 - ・妣田圭子愛用の品

山梨市 根津記念館

〒405 - 0032
 山梨県山梨市正徳寺296
 TEL 0553 - 21 - 8250 FAX0553 - 21 - 8251
【アクセス】
 JR 中央本線山梨市駅より徒歩25分・タクシー5分
 中央本線春日居駅より徒歩25分・タクシー5分
 お車 国道140号山梨小前交差点より2分
 中央自動車道勝沼インターより15分
 中央自動車道一宮御坂インターより15分

